

5 高次脳機能障がい者・発達障がい者調査

(1) 基本的な属性

ア 性別

問1 性別はどちらですか。(○は1つ)

高次脳機能障がいの診断を受けている、もしくは高次脳機能障がいだと思われる人(以下、「高次脳機能障がい者」という。)6人の性別は、5人が男性、1人が女性である。

発達障がいの診断を受けている、もしくは発達障がいだと思われる人(以下、「発達障がい者」という。)13人の性別は、8人が男性、5人が女性である。

なお、高次脳機能障がい・発達障がい両方の診断を受けている人が1人おり、性別は女性である。

<性別>

		男性	女性
高次脳機能障がい	n=6	5人	1人
発達障がい	n=13	8人	5人
高次脳機能障がい・発達障がい(重複)	n=1	—	1人

イ 年齢

問2 年齢を教えてください。(10月1日現在)

高次脳機能障がい者6人の性別の年齢は、20代・30代・40代・60代がそれぞれ1人、50代が2人である。発達障がい者13人の年齢は、20代・30代・40代がそれぞれ3人、50代が2人、10代・70代がそれぞれ1人である。

<年齢>

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
高次脳機能障がい	n=6	—	1人	1人	1人	2人	1人	—
発達障がい	n=13	1人	3人	3人	3人	2人	—	1人
高次脳機能障がい・発達障がい(重複)	n=1	—	—	—	—	1人	—	—

ウ 居住地域

問3 現在、どこにお住まいですか。(○は1つ)

高次脳機能障がい者6人の居住地域は、全員が「三鷹市内」である。発達障がい者13人の居住地域は、「三鷹市内」が10人、「三鷹市以外の東京都区市町村」が3人である。

<居住地域>

		三鷹市内	三鷹市以外の 東京都区市町村	他の道府県
高次脳機能障がい	n=6	6人	—	—
発達障がい	n=13	10人	3人	—
高次脳機能障がい・発達障がい(重複)	n=1	1人	—	—

エ 障害者手帳の所持状況

問4 あなたは、障害者手帳をお持ちですか。(○はいくつでも)

高次脳機能障がい者6人のうち、3人は「身体障害者手帳」を所持し、2人は「精神保健福祉手帳」を所持している。発達障がい者13人のうち8人は「精神保健福祉手帳」を所持し、3人は「愛の手帳」を所持している。

<障害者手帳の所持状況>

	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	持っていない	無回答
高次脳機能障がい n=6	3人 2級 2人 3級 1人	—	2人 2級 1人 3級 1人	1人	—
発達障がい n=13	1人 2級 1人	3人 2度 2人 4度 1人	8人 2級 4人 3級 4人	1人	—
高次脳機能障がい・発達障がい(重複) n=1	—	—	—	—	1人

オ 高次脳機能障がい・発達障がいの診断状況

問5 あなたは、次のような診断を受けていますか。(○はいくつでも)

「高次脳機能障がいの診断を受けている」人は5人、「診断は受けていないが、高次脳機能障がいだと思われる」人は1人、「発達障がいの診断を受けている」人は9人、「診断は受けていないが、発達障がいだと思われる」人は4人である。なお、1人は高次脳機能障がい・発達障がいの両方の診断を受けている。

<高次脳機能障がい・発達障がいの診断状況>

	高次脳機能障がいの診断を受けている	診断は受けていないが、高次脳機能障がいだと思われる	発達障がいの診断を受けている	診断は受けていないが、発達障がいだと思われる	高次脳機能障がい・発達障がいの両方の診断を受けている
n=20	5人	1人	9人	4人	1人

カ 記入者

問18 この用紙に記入されたのはどなたですか。(○は1つ)

今回の調査票の記入については、高次脳機能障がい者6人は全員「本人が記入」、発達障がい者13人は10人が「本人が記入」である。

<今回の調査票の記入者>

	本人が記入	ご家族が記入	その他	無回答
高次脳機能障がい n=6	6人	—	—	—
発達障がい n=13	10人	1人	1人	1人
高次脳機能障がい・発達障がい(重複) n=1	—	2人	—	—

(2) 高次脳機能障がいについて

ア 障がいが生じた時期

問6 あなたに障がいが生じたのは何歳のときですか。

高次脳機能障がいが生じた時期は、10代が6人のうち3人、20代・30代・40代がそれぞれ1人ずつとなっている。

＜高次脳機能障がいが生じた時期＞

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
高次脳機能障がい	n=6	3人	1人	1人	1人	—	—	—
高次脳機能障がい・発達障がい(重複)	n=1	—	—	1人	—	—	—	—

イ 障がいが生じた原因

問7 あなたに障がいが生じた原因は何ですか。(〇はいくつでも)

高次脳機能障がいが生じた原因は、「脳血管障がい」、「脳外傷」、「その他の疾患」がそれぞれ1人ずつ、「その他」が3人である。なお、「その他」としては、具体的に「精神薬の後遺症」、「脳腫瘍」、「ウイルス性脳炎」、「ストレス」の記入があった。

＜障がいが生じた原因＞

		脳血管障がい	脳外傷	その他の疾患	その他
高次脳機能障がい	n=6	1人	1人	1人	3人
高次脳機能障がい・発達障がい(重複)	n=1	—	—	—	1人

ウ 障がい発症前と比べてもっとも困ったこと

問8 高次脳機能障がいに基づいて、発症前と比べてもっとも困ったことは何ですか。ご自由にお書きください。

高次脳機能障がいの発症前と比べてもっとも困ったこととしては、具体的に以下のような記入があった。

- ・ 白黒はっきりしないとイライラし、感情のコントロールができない。
- ・ 友だち関係がうまくいかず、友人がいない。
- ・ 物事を具体的に言われないとわからない。
- ・ 気持ちの上下が激しいからつらい。
- ・ 新しいことができない。新しい場所に何度も連れて行ってもらっても一人で行けない。
- ・ 感情があがってこないの、その場で判断できない。
- ・ 記憶が流れ、ドラマや映画を見られなくなった。
- ・ やりたいことがあっても、一人では何もできない。
- ・ 高次脳機能障がいになったことで、もともとあったLDも重くなったと思う。
- ・ フラッシュバックがひどくなって、生活に支障をきたす。
- ・ 思考のスピードが遅くなった。
- ・ 物覚えが悪い。
- ・ 新しいことを覚えるにくくなった(常時)。
- ・ 感情のコントロールが難しくなった(時々)
- ・ 勉強ができなくなった。対面で緊張しやすくなった。

(3) 発達障がいについて

ア 発達障がいの内容

問9 あなたは、次のような診断を受けていますか。(○はいくつでも)

発達障がいの診断内容としては、13人のうち「アスペルガー症候群」をあげた人が5人、「自閉症(自閉症スペクトラム)」が4人などとなっている。

＜発達障がいの内容＞

		自閉症 (自閉症 スペクト ラム)	アスペ ルガー 症候群	その他 の広汎 性発達 障がい	注意力 欠如多 動性障 害(AD /HD)	学習障 害(LD)	その他 の発達 障がい	無回答
発達障がい	n=13	4人	5人	1人	2人	—	1人	3人
高次脳機能障がい・発達障がい(重複)	n=1	—	—	—	—	1人	—	—

イ 家族が発達に関する問題に気づいた時期

問10 あなたの発達に関する問題について、ご家族が最初に気づいたのは何歳のときですか。

家族が対象者の発達に関する問題に気づいたのは、13人中4人が「6～18歳未満」と回答している。

＜家族が発達に関する問題に気づいた時期＞

		6歳未満	6～18歳 未満	18～20歳 未満	20代	30代	40代	無回答
発達障がい	n=13	2人	4人	—	2人	—	1人	4人
高次脳機能障がい・発達障がい(重複)	n=1	—	1人	—	—	—	—	—

ウ 本人が発達障がいに基づく日常生活の問題や困難に気づいた時期

問11 あなたご自身が、発達障がいに基づく日常生活の問題や困難に気づいたのはいつごろですか。
(○は1つ)

対象者自身が発達障がいに基づく日常生活の問題や困難に気づいたのは、13人中5人が「小学生のころ」、4人が「就職してから」と回答している。なお、「その他」の記入内容は「子育てしてから」である。

＜本人が発達障がいに基づく日常生活の問題や困難に気づいた時期＞

		小学生 のころ	中学生 のころ	高校生 のころ	大学・ 専門学校 等の ころ	高校を 卒業し た後	就職し てから	その他	特に問 題や困 難はな い	無回答
発達障がい	n=13	5人	2人	—	—	—	4人	—	1人	1人
高次脳機能障がい・発達障がい(重複)	n=1	—	—	—	—	—	—	1人	—	—

エ 問題や困難の内容

問12 それはどのような問題や困難でしたか。(○はいくつでも)

発達障がいに基づく日常生活の問題や困難としては、具体的に以下のような記入があった。

＜友人関係・対人関係＞

- ・ コミュニケーションが下手で、人に嫌われる。距離感が悪い。
- ・ 空気が読めない。おうむ返し。
- ・ 仲良くしろと言われる。

＜家族関係＞

- ・ 意思を伝えられない。困っていることも伝えられない。
- ・ 荒れていた。
- ・ 弟との関係

＜学校関係＞

- ・ 日本の学校に転入時、不当な扱いを受けて泣き寝入りした。
- ・ 勉強や運動を上達させる方法がわからなかった。友人をつくれなかった。
- ・ いじめ。先生からも。
- ・ 先生は見て見ないふりをする。
- ・ 中学以降、授業に意義を見出せなくなって学業を放棄した。
- ・ 学校にいかない。

＜就職・仕事に関すること＞

- ・ 自分の意見を曲げられなくて上司とぶつかる。
- ・ 上司とのコミュニケーション
- ・ 会社での上下関係に従えない。
- ・ 仕事中でも自分のしたいことが我慢できない。
- ・ 企画などの仕事はできるが、事務仕事が信じられないくらいできない。
- ・ 能力を向上させる方法と、同僚の誤解を解けない。
- ・ 3か月しか無理。
- ・ まじめにアルバイトできず、クビを切られた。
- ・ 行き先が少ない。

＜心身の状態に関すること＞

- ・ うつ病
- ・ うとまれたり、しかられたりして、自己肯定感が持てなくてうつ状態に。
- ・ 感情の自覚がないために、感情をコントロールできない。
- ・ 強迫観念
- ・ 幻覚が出た。
- ・ 不安だけです。
- ・ 中学受験成功後、何か気分変調をきたした。

＜その他＞

- ・ 世の中に関心が持てない。
- ・ 落とし物、忘れ物が多い。
- ・ 部屋を片付けられない。
- ・ 頭のイメージと実際の速度が違う。
- ・ 発語がなく、コミュニケーションが困難。音に敏感で、騒がしい状況への対応が困難。
- ・ 睡眠できない。
- ・ してほしいことはしてくれない。
- ・ 精神科の主治医がいなければ安心できなかった。

オ 問題等の相談先

問13 そのとき、誰に相談しましたか。(〇はいくつでも)

発達障がいに基づく日常生活の問題や困難が起きたときには 13 人のうち 4 人が「家族」に相談、3 人が「病院や診療所の医師」に相談しているが、5 人は「誰にも相談しなかった」と回答している。

＜問題等の相談先＞

		家族	学校の先生	病院や診療所の医師	その他	誰にも相談しなかった
発達障がい	n=13	4 人	1 人	3 人	2 人	5 人
高次脳機能障がい・発達障がい(重複)	n=1	1 人	—	—	—	—

(4) 困ったときの相談相手

ア 困ったときの相談相手

問14 あなたやご家族の方が困ったときに相談する相手は誰ですか。(〇はいくつでも)

対象者自身や家族が困ったときに相談するのは、高次脳機能障がい者では 6 人のうち 4 人が「家族や親戚」、3 人が「友人・知人、近所の人」をあげている。発達障がい者では、13 人のうち 9 人が「医療関係者(医師・看護師・ソーシャルワーカー)」をあげ、最も多くなっている。なお、「その他」としては、具体的に「インターネット上で、同じような障害を持っている人たち」の記入があった。

＜困ったときの相談相手＞

		家族や親戚	友人・知人、近所の人	障がい者の会や家族の会	施設(通所・入所)の職員	医療関係者(医師・看護師・ソーシャルワーカー)	市の職員・部署	その他	相談する相手はいない	無回答
高次脳機能障がい	n=6	4 人	3 人	—	1 人	1 人	—	—	2 人	—
発達障がい	n=13	5 人	4 人	—	5 人	9 人	2 人	4 人	1 人	1 人
高次脳機能障がい・発達障がい(重複)	n=1	1 人	—	—	—	—	—	—	—	—

(5) 日常生活の状況

ア 日中の主な過ごし方

問15 あなたは、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

平日の日中の主な過ごし方としては、高次脳機能障がい者では6人のうち2人が「自宅で家事をしている」と回答している。発達障がい者では「パート、アルバイトなどで働いている」人と「通所施設に通っている」人がそれぞれ13人中3人となっている。

＜日中の主な過ごし方＞

		正社員として働いている	パート、アルバイトなどで働いている	通所施設に通っている	大学・学校などに通っている	自宅で家事をしている	その他	特になにもしていない	無回答
高次脳機能障がい	n=6	—	1人	1人	—	2人	1人	1人	—
発達障がい	n=13	1人	3人	3人	1人	—	4人	—	1人
高次脳機能障がい・発達障がい(重複)	n=1	—	—	—	—	1人	—	—	—

イ 日常生活で困っていること・不安に思っていること

問16 日常生活について、困っていることや不安に思っていることなどがありましたら、ご自由にお書きください。

日常生活について困っていることや不安に思っていることとしては、具体的に以下のような記入があった。

- ・ たくさんのタスク(約束等スケジュール&仕事内容)がある場合の優先順位がわからない。
- ・ 声が大きすぎる。感嘆詞等リアクションがあげすぎる。
- ・ 忘れ物が多い。
- ・ 片頭痛
- ・ 物をすぐ落とす。
- ・ 定期的な服薬を守れない。
- ・ 過集中。
- ・ 疲労感の無自覚。
- ・ 夫に家事などの負担をかけていること。
- ・ まちを歩いているときも大きい声が出てしまうので、まわりの人に不快な顔、態度をとられてしまう。
- ・ ずっと一緒にいてくれる人たちと早く会って、その人たちを知りたい。家の近くにいたい。
- ・ 障害者年金がもらえないので困っています。収入が少ないので困っています。
- ・ 入院しているが、やたら話しかけられ落ち着かない。
- ・ 時間、生活に余裕があり、困惑している。
- ・ 親がいなくなったあとの生活。

(6) 福祉サービスの利用状況・利用意向

ア 福祉サービスの利用状況・利用意向

問17 福祉などのサービスについておたずねします。現在利用しているサービスと、今後利用したいと思うサービスをお書きください。

現在利用しているサービス、今後利用したいサービスとしては、具体的に以下のような記入があった。

<現在利用しているサービス>

- ・ 生活介護、移動支援、行動援護、日中一時支援
- ・ デイケア
- ・ グループホーム
- ・ 訪問看護
- ・ ショートステイ
- ・ カウンセリング
- ・ 就労支援(かけはし)
- ・ 作業所

<今後利用したいサービス>

- ・ 就労継続支援 B 型
- ・ 見た目ではわからない人へのきめ細かい対応ができるサービス
- ・ 発達支援センター
- ・ ジョブコーチ
- ・ 単調作業ではない作業所
- ・ グループホーム